

令和7年度 授業改善推進プラン

<第3学年>

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す語彙量の増加 ・伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙量の不足。 ・自分の思いや考えをまとめる力やわかりやすく伝える力の不足 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 標準学力調査 CBT 平均正答率 61.2% </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書巻末や辞書、タブレット端末等を活用し、意味の分からない言葉があるときに調べる習慣をつける。 ・書く活動や話し合う活動を意図的に取り入れ、自分の思いや考えを伝える経験を増やす。
社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料などを使って調べる力 ・調べたことをノート等にまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を何で調べるかの知識の不足 ・必要な情報をどの様な言葉で検索するか経験の不足 ・まとめる技能の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に資料や地図を活用した授業を実施する。 ・まとめる活動の経験が乏しい児童には、教師がまとめ方の型を提示し、見通しをもって活動できるようにする。
算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・量感を豊かにする ・計算、作図、測定、表やグラフに表す技能 ・数の表し方や計算の仕方などを考察する力 ・数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする態度 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 標準学力調査 CBT 平均正答率 73.0% </div> <ul style="list-style-type: none"> ・文章から必要な情報を読み取る力の不足 ・児童が自分の考えを算数の表現（図、式、言葉など）をもとに伝える手段が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程や結果を具体物や図、数、式などを用いて表現し、伝え合う活動の場を1時間の授業の中で意図的に取り入れる。 ・量感を養う活動を意図的に取り入れ、生活場面との接続についても検討する時間を設ける。
理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見いだす問題解決の力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の差異点や共通点を見つけ出そうとする意欲が低いこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象から差異点や共通点を見つけ出す経験を積み重ね、解決を図ることで意欲の向上を図る ・2つ以上のものを掲示し、差異点や共通点に気付かせるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第3学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・児童が進んで音楽表現を考え、自分の思いや意図をもって音楽活動に取り組むことができるようにする。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能 ・リコーダーの基本的な奏法(支え方・タンギング・運指)を身に付ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を捉えて表現を工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声や呼吸法が学べる曲を導入で取り入れる。 ・リコーダーの基本的な奏法が身に付くように、毎時間確認したり、タンギングで歌ったり、分かりやすく提示したりする。 ・曲の特徴を捉えられるように、楽譜の読み方を指導したり、実際に歌ってみたりして曲の特徴を捉えられるようする。そして、それらの特徴を生かし、様々な表現を試す時間を設け、特徴にあった表現の工夫をできるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形の違いが分かり、手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、創造的につくったり表したりする。 ・表したいことに向かって豊かに発想や構想を広げ、身の回りの作品などから自分の見方、感じ方を広げる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な材料、用具の扱い方を定着させること <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具、言葉、色等から豊かに発想や構想を広げられること <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具や材料から想像を広げ自ら進んで取り組むことができること 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の安全な扱い方を徹底し、体全体の感覚を働かせながら、材料や用具を扱い、基礎・基本的な技術の定着を図る。 ・さまざまな材料や用具を使いながら、感じ方や想像したことを基に、豊かに発想や構想を広げられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能の習得 ・自己の運動の課題を見付け、解決方法や活動を工夫する力 ・各種の運動に進んで取り組み、最後まで努力して運動をする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の運動経験の偏り、不足 ・柔軟性の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に取り組める場を設定する。 ・技能差があっても、どの児童でも運動の特性や面白さに触れることができるように場の設定を工夫する。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第3学年>

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や基本的な表現に慣れる。 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 児童間での英語の定着の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌やゲームなどを通して、楽しく英語に触れることができるようにする。 繰り返し活動を行うことで、見通しや自信をもって学習できるようにする。 めあての確認と振り返りを行う。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 親切にする実践的意欲の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや行動について振り返る力の不足 学習課題について自分の考えをもつ力の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 考える必然性のある発問や自由な思考を促す発問を通して、自我関与を促す。 自己を振り返る時間を十分に確保し、自己の在り方を考える時間を設定する。
特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図る力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめて、周囲にわかりやすく伝える力の不足 集団の目標達成や課題解決のための方法を考えたり、合意形成を図ったりする力の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 集団の目標達成や課題解決について話し合う場を意図的に設定する。 定期的に集団の目標について振り返る機会を設定し、課題解決に向けての意欲を高める。
総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の仕方、情報の活用方法、著作権に関する知識の不足 集めた情報について整理し、分析して、まとめる技能の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 国語や社会の学習と関連させ、調べた情報をまとめたり、表現したりするなどの学習活動を行うように工夫する。